
心の闇

summer

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心の闇

【コード】

N8211P

【作者名】

summer

【あらすじ】

心理学者が人生をかけて解明した答えとは・・・

テレビである無差別殺人のニュースが流れていた。そしてその記事を読んでいるアナウンサーの隣に、評論家のR氏が座っていた。

彼は、ここ最近売れだした評論家だった。彼は中肉中背で特に特徴もない、その辺にいるごく普通のサラリーマンという風貌だったが、彼の評論、特に犯罪心理評論は実到的確だった。

彼がテレビに出るきっかけになったのは、以前彼の席に座って評論をしていたある女性心理学者の一言からだった。彼女はある猟奇殺人のニュースの後、

「私はこういった『猟奇殺人』とその原因、いわゆる『心の闇』を人生をかけて解明したいと思います。」

と言ったのだった。そして彼女はその言葉通りに行動した。当時引きこもりをしていた若者達に取材に行ったのだった。その中の1人がR氏だった。それがきっかけでR氏は引きこもりをやめ、彼女のもとで勉強し、評論家としてテレビに出始めた。R氏は女性心理学者を先生と呼び、自分を世の中に戻してくれた恩をいつか必ず返しますと彼女に感謝した。女性心理学者は、『引きこもりを矯正した心理学者』として一時脚光を浴びたが、いつからかテレビにぱったり出なくなつた。

あるニュース番組でR氏は語った。

「・・・例えるならば、暗い夜に明るい家の中は見えるが、明るい昼間に暗い家の中は見えませんか？そう、心の闇というのは、明るい世の中で暮らしている我々からは見えないモノなのです・・・」
そのニュース番組を暗い部屋でじっと見ている女性がいた。その部屋には窓はなく、外から鍵のかかったドアとテレビが1台置いてあるだけの、独房のようなところだった。彼女の痩せこけた頬と汚れ

た髪の毛は、彼女がずいぶん長い間監禁されている事を物語っていた。

隣のアウンサーが喋っている間、R氏はテレビカメラを感情のない冷たい眼で見つめていた。その表情は今までの温和な評論家の顔とは明らかに違っていた。そして彼はテレビカメラの向こう側に向かって心の中で語りかけた。

「その絶望的な孤独感と無力感が、『心の闇』です、先生。そしてもうすぐドアの鍵がタイマーで外れます。外に出た先生の心には一気に憎悪がわきあがり、私をどうやって殺してやるうかと考え、そして実行するでしょう。それが『猟奇殺人』です。これが先生が人生をかけて解明したいと言っていた事の答えです。先生の恩を、私も人生をかけてお返しします……」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8211p/>

心の闇

2011年1月4日02時10分発行